

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	病理検体を用いた PI3K/Akt/mTOR シグナル活性と遺伝子変異の相関性検討：単施設後方視的研究 (B24-098)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医療衛生学部病理学/病院病理部 講師 松本 俊英
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	PI3K/Akt/mTOR シグナルは、細胞の増殖、成長、生存などを司る主要な細胞内シグナル伝達経路で、がんにおいて最も高頻度に異常を起こしており、がんの有望な治療標的と考えられています。しかし、同経路阻害剤の導出は少なく、その一因として、遺伝子異常の有無が実質的にシグナル活性化を示す機能獲得型変異であるかどうかの疑問が解決に至っていません。がん遺伝子パネル検査で得られた PI3K/Akt/mTOR 遺伝子変異が夫々シグナル活性化型であるかを、病理検体を用いて免疫組織化学的に検討し、臨床応用に向けた基礎データの蓄積を目指します。
調査データ 該当期間	2020年4月1日から2023年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内にがん遺伝子パネル外来を受診された方
研究の方法 (使用する試料等)	2020年4月1日から2023年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録(年齢、癌種、臨床病期、組織型、リンパ節・遠隔転移の有無、再発の有無、予後等) がん遺伝子パネル検査の結果を利用します。 日常診療で採取した病理検体を使用します。 (改めて組織を採取することはありません)
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究を遂行するための費用は、学内研究費(AKPS、特別研究費や学術奨励研究)を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：北里大学医療衛生学部病理学/北里大学病院病院病理部・講師

担当者：松本俊英（まつもととしひで）

電話：042 778 8077

備考